

令和7年1月20日開催

令和6年度第2回習志野市災害医療対策会議

資料2-1

令和6年度習志野市災害医療本部及び応急救護所訓練 実施報告

1. 日 時

令和6年11月24日（日）8：30～13：30

2. 会 場

- （1）災害医療本部訓練：市庁舎グランドフロア AB 会議室
- （2）応急救護所訓練：保健会館、第二中、第七中
- （3）救急告示病院（津田沼中央総合病院・谷津保健病院・習志野第一病院）、
災害拠点病院（済生会習志野病院）

3. 目 的

各応急救護所における設置・運営訓練および災害医療本部、災害拠点病院・救急告示病院（4か所）、各応急救護所（3か所）間の情報伝達訓練（無線による画像伝送訓練・EMIS 入力訓練）を実施し、各機関・各自の役割や課題の共有を図ることを目的とする。

4. 参加機関

習志野市医師会、習志野市歯科医師会、習志野市薬剤師会、習志野市アマチュア無線非常通信連絡会、救急告示病院（津田沼中央総合病院・谷津保健病院・習志野第一病院）、災害拠点病院（済生会習志野病院）

5. 参 加 者

	災害 医療本部	応急救護所			救急告示病院 災害拠点病院(※)	合計 (名)
	グランドフロア・ AB 会議室	保健会館	第二 中学校	第七 中学校	津田沼中央総合病院 谷津保健病院 習志野第一病院 済生会習志野病院(※)	
医師会	3	4	3	3	12 (医師以外の病院職員を含む)	25
歯科医師会	4	4	3	4	—	15
薬剤師会	3	5	5	4	—	17
アマチュア無線 非常通信連絡会	2	3	1	2	—	8
市職員	9	7	8	8	—	32
合 計	21	23	20	21	12	97

※保健会館会場にクリニック医師1名が見学参加。

6. 実施方法

令和 6 年度防災訓練計画書のとおり

7. 各会場での反省会・職員報告からみた今後の課題

今年度は、救急告示病院（習志野第一病院、津田沼中央総合病院、谷津保健病院）と災害拠点病院（済生会習志野病院）、医療本部、第一中学校を除く 3 会場の応急救護所による計 8 会場にて、無線による音声と画像伝送を用いて情報伝達訓練を実施し、医療本部と各応急救護所会場では、設置・運営訓練を実施した。

除外とした第一中学校は、会場となる体育館とピロティーが長寿命化改修工事により使用できないため中止とした。

今回の訓練では、第二中学校は、令和 6 年 9 月に新校舎へ移動したため、医薬品を備蓄している保健室の場所や校内にある AED 等の場所を確認した。

また、START 法による一次トリアージの理解を深めるため、各応急救護所会場にて、役割に関わらず、START 法の確認とトリアージタグの記載等を行うトリアージ机上訓練を実施した。

医療本部と各病院では、EMIS（広域災害・救急医療情報システム）の合同練習モードを使用し、実災害と同様の入力訓練と医療機関の被災情報確認を行った。医療本部には病院 4 か所、応急救護所 3 か所の情報が入ってくるため、情報の整理のため EMIS の積極的な活用や応急救護所報告フォーマットの利用を図ったが、無線の報告待ちや情報整理の課題が生じた。

医療本部の情報の整理については、今回の訓練を通しての反省点を生かし、ホワイトボードへの情報の整理の工夫や EMIS 画面の拡大等を取り入れていく。

また限られた情報伝達ルートを有効に利用できるよう、各会場での無線において伝達内容の優先順位等検討が必要である。

上記を踏まえ、次年度の訓練や有事に備え準備していく。